

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あいうえおん			
○保護者評価実施期間	2026年1月5日 ~ 2025年1月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38人	(回答者数)	37人
○従業者評価実施期間	2026年1月5日 ~ 2025年1月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月6日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所で過ごすすべての時間をプログラム化し、見通しのある一日の流れを提供している。	全ての時間をプログラム化し、活動の目的や流れを明確にすることで、気持ちや行動の切り替えが苦手な子どもでも安心して安心して参加できる環境づくりを行っている。また、学校生活を見据えた集団参加やルール理解につながる支援を意識し、成功体験を積み重ねることで自己肯定感や自己効力感の向上を図っている。	既存のプログラムについて定期的な振り返りを行い、子どもたちの反応や成長の様子を踏まえながら、内容や進め方の見直しを行っていく。 学習の時間・活動の時間・お話の時間それぞれについて、ねらいや支援目標をより明確にし、子どもの特性や発達段階に応じた段階的な参加ができるよう工夫を重ねていく。
2	行動面だけ評価するのではなく、感情や経験の積み重ねに着目し、子ども一人ひとりの内面理解を大切にした支援を行っている。安心できる関係性の中で、挑戦と成功の経験を積み重ねることにより、集団参加への意欲につなげている。	子どもの行動のみを評価するのではなく、その時の気持ちや背景を職員間で共有し、「なぜその行動が起きたのか」を考える視点を大切にして支援を行っている。 活動への参加が難しい場合でも、参加の形や関わり方を段階的に設定し、子どもが自分のペースで挑戦できるよう工夫している。	子どもの行動の背景にある感情や経験に着目する支援をさらに充実させるため、職員間の情報共有や事例検討の機会を定期的に設け、支援の意図や関わり方を統一していく。また、挑戦と成功体験を意図的に積み重ねられるプログラム設計を強化し、子どもが自分の成長を実感できるよう振り返りや可視化の仕組みを整備する。
3	子どもの特性に合わせた関わりを基本としつつ、保護者が何に困り、どんな成長を願っているのかを共有しながら支援を行っている。事業所での取り組みが家庭や学校生活につながるよう意識している。	家庭での行動パターンや学校での様子を聞き取り、事業所の支援に反映することで、子どもにとって一貫した支援環境になるよう工夫している。 学校生活で求められるルールや集団参加のスキルを意識したプログラム構成を行い、学校生活へつながる支援を行っている。	学校での様子や目標を把握し、事業所での支援内容に反映することで、学校生活に直結する支援をより具体的に行う。学校や関係機関と連携が必要な場合は、情報共有の手段やタイミングを整理し、円滑な連携を進める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	プログラム準備や振り返りを重視しているため、送迎体制にかぎりがあり、対応できる範囲が限定されている。	送迎業務を増やすと支援準備や振り返りの時間が削られ、支援の質低下につながる懸念があるため、現状の体制での両立が難しい。	プログラム準備や振り返りを重視しているため、送迎体制に限りがあり対応できる範囲が限定されている。送迎業務を増やすと支援準備の時間が確保できず支援の質低下につながるため、送迎の範囲や時間帯の見直し、職員の業務分担の工夫、業務効率化を進める必要がある。また、保護者へ支援方針と送迎体制の理由を丁寧に説明し、理解を得られるよう努める。
2	地域の子どもとの交流や放課後等デイサービス・児童館等との交流機会が少ない。	保護者のニーズ（宿題対応や学習支援）に応えることを優先しているため、プログラムの時間配分が交流に割けない状況になっている。	平日の交流が難しい場合、地域のイベントや交流会の情報を保護者へ共有し、家庭と連携した参加を促す工夫を行う。
3	保護者向けの家族支援プログラムや情報提供の機会が十分に整っていない。	保護者のニーズが多様であり、どの内容をどの形式で提供するか整理が必要な状況である。	家族支援プログラムの充実が課題である。職員向けのペアレントトレーニングは実施したものの、保護者向けの支援は十分に実施できていない。今後は、保護者支援の内容や目的を整理し、参加しやすい形式・時間帯での講座や相談会の実施や、家庭での支援につながる情報提供を充実させる必要がある。